

第3次岡山県がん対策推進計画



県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんになっても
自分らしく生き抜くことのできる岡山県の構築を目指して

平成30年3月

岡山県

ご あ い さ つ

がんは、昭和57年以降、本県の死因の第1位であり、県民の生命と健康にとって大きな課題となっています。

こうした中、本県では平成21年2月に「岡山県がん対策推進計画」を、平成25年3月に「第2次岡山県がん対策推進計画」を策定するとともに、がん対策に関する基本理念を定めた「岡山県がん対策推進条例」を制定し、「がんによる死亡の減少」、「全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質（QOL）の維持向上」、「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を目指し、各種施策を推進してまいりました。

「第3次岡山県がん対策推進計画」では、進学や就労、結婚、出産といった人生の節目と治療の時期が重なるAYA（Adolescent and Young Adult）世代（思春期世代と若年成人世代）のがん対策や企業と連携した就労と治療の両立支援の強化など、新たな課題への対応を盛り込み、岡山県がん対策推進条例の基本理念である「県民が、がんを知り、がんに向き合い、がんになっても自分らしく生き抜くことのできる岡山県の構築」を目指すこととしております。

これまでの成果を踏まえつつ、県、医療関係者、関係団体等が一体となって、着実にがん対策を推進してまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

終わりに、本計画の策定に多大なご尽力を賜りました岡山県がん対策推進協議会委員の皆様をはじめ、関係各位並びに貴重なご意見をいただいた皆様に、心から感謝を申し上げます。

平成30年3月

岡山県知事 伊原木 隆太

目 次

第1章 計画の基本的事項

- 1 計画策定の趣旨 1
- 2 基本理念 1
- 3 計画の性格・期間 2

第2章 岡山県の現状

- 1 がんの死亡・罹患の状況 3
- 2 がん医療提供体制の状況 19
- 3 がんの予防の状況 26
- 4 がん検診の状況 27
- 5 がん患者の就労と療養に関する状況 34

第3章 全体目標

- 1 がん予防・がん検診の充実等による死亡の減少 36
- 2 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質（QOL）の維持向上 36
- 3 がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現 36

第4章 分野別施策と個別目標

- 1 がんの予防 37
- 2 がんの早期発見 59
- 3 がんの診断・治療に関する医療水準の向上 66
- 4 患者・家族への支援 79
- 5 がん登録の推進 85
- 6 小児がん、AYA世代のがん対策 91
- 7 がんの教育・普及啓発 95
- 8 がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現 98
- 9 分野別施策と全体目標の関係 103

第5章 目標達成状況の把握とがん対策を評価する指標の策定

- 1 数値目標 104
- 2 現状把握と評価（計画の見直し等） 104

<参考>

- ・用語の説明 109
- ・岡山県がん対策推進協議会設置要綱 122
- ・岡山県がん対策推進協議会委員 123
- ・第3次岡山県がん対策推進計画の策定経過 124

